

吸油量の測定

顔料及び体質顔料の吸油量(ペースト状にするために必要な量)を測定することにより、顔料の粒度、粒子形状、表面積の大小などの物理的特性を知ることが出来ます。

東レテクノ(株)では、JIS法(*)に準じた吸油量の測定を実施しています。

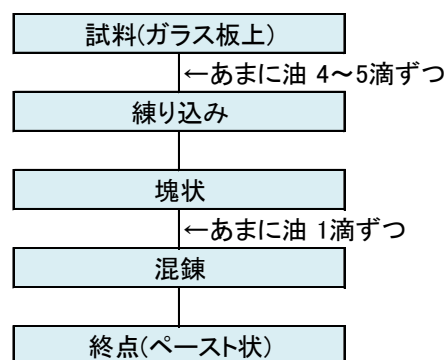
(*)顔料試験方法-第13部:吸油量-

JIS K 5101-13-1(2004) 第1節:精製あまに油法 及び JIS K 5101-13-2(2004) 第2節:煮あまに油法

【測定概要】

一定量の試料にあまに油を滴下し、パレットナイフで練りこみながら、終点(ペースト状)に達した時のあまに油滴下量を吸油量として算出します。

<分析フロー>



顔料試験方法-第13部:吸油量- JIS K 5101-13-1とJIS K 5101-13-2の相違点

JIS K 5101-13-1(2004) 第1節:精製あまに油法	JIS K 5101-13-2(2004) 第2節:煮あまに油法
精製あまに油を使用(*)	煮あまに油を使用
ペーストが滑らかな硬さになったところが終点	らせん形に巻くことが出来る状態になったところが終点
終点までの操作に要する時間は20~25分間	終点までの操作に要する時間は7~15分間

(*):ISO150に規定する精製あまに油が入手出来ないため、試薬1級アマニ油を使用



精製あまに油法の終点(イメージ)



煮あまに油法の終点(イメージ)